

くめしま

広 報

Kumejima Town News

4月号
2011
No.109

人口の推移
平成23年2月末現在

男	4,579人
女	4,114人
計	8,693人
世帯	3,902世帯

町内小・中学校で卒業式



比屋定小学校

小学校97名、中学校107名が思い出を胸に学舎を旅立った



久米島西中学校



久米島中学校

C O N T E N T S

- 平成23年度施政方針..... 2・3
- 博物館だより 4
- 公立久米島病院だより 5
- みんなで行こう!『健康診断』..... 6
- 妊婦のみなさまへ 7
- 町の話題..... 8・9
- 下水道料金が改定されました!..... 10
- 消防だより 11
- 国民年金保険料が改定されます! 12
- 認知症を正しく理解するためのシリーズ⑩... 13
- お知らせ 14
- 町民カレンダー 15
- 東日本大震災義援金にご協力を! 16

平成23年度施政方針

(はつめい)

平成23年3月議会の開会にあたり、町政運営に対する私の所信を申し上げ、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

経済情勢について、最近の世界経済は、金融危機後の大幅な落ち込みから各国による経済対策により確実に立ち直り、底堅く推移すると予想されています。日本経済はエコカー補助金や家電エコポイントなど政府の緊急経済対策の期限切れとなったことによる成長鈍化や円高に伴う輸出の減速で、景気回復の足踏み状態が続く、国民生活や国、県、市町村の財政にも大きな影響を与えています。また、本町においては、昨年に続き台風襲来がなかったことからさとうきびを中心とした農作物が豊作型で推移していることや国の経済対策により景気は持ち直しつつあるところもありますが、観光業においては全国的な景気低迷により離島への観光客が減少するなど依然として大変厳しい状況にあると認識しております。

このような経済情勢の中にあつて、いかにして産業の振興を図り、福祉、教育などの行政サービス向上を図るかということが重要課題であります。これら課題を解決するには、町民と行政が知恵を出し合い協働する町づくりが重要であります。町としては、国、県の動向を見定めながら国、県の対策に連動して迅速かつ的確に経済対策を推進して参ります。

では、平成23年度の新たな施策についてご説明します。

プロジェクト事業として海洋温度差発電複合利用事業の導入に向け佐賀大学や企業等と協議会を立ち上げ取り組んで参ります。また、ゴルフ場開発に向け計画策定業務に取り組みして参ります。農業部門では農産物加工施設を整備します。また、沖縄県和牛生産拠点産地に認定されましたので生産者と連携し久米島ブランド牛の確立と生産拡大に向け取り組んで参ります。商

工部門では特産品開発及び事業化、久米島線の販路開拓や後継者育成、また、久米島海洋深層水関連商品の全国展開の取り組みを支援します。観光部門では集客増につながる取り組みと外国人観光客対応の人材育成に取り組みます。福祉部門では小規模特養施設と小規模多機能施設の整備促進「ヒビニ」小児肺炎球菌「及び」子宮頸がん予防ワクチン接種への助成に取り組んで参ります。

1. 行財政改革の推進

平成24年度から平成28年度にかけて、合併特例の交付税算定替えが行われ、交付税が現在の額より約6億8千万円減少します。

これに対応するため、組織機構改革を行い、職員定数を大幅に削減するとともに、事務事業の民営化、指定管理者制度への移行、事務事業の業務委託を推進します。また、公共施設の統廃合や事務事業の見直しなどの行財政改革にも重点的に取り組んで参ります。

2. 産業の振興

(1) 農業の振興

本町の基幹産業である農業は、引き続き、主要産業として位置づけし、積極的に振興を図って参ります。農業を取り巻く環境は、依然として厳しく、農業従事者の高齢化に加え、農業の担い手不足の問題や農業資材等の急激な高騰により経営が圧迫されている状況にあります。その対策については、栽培技術や経営技術の改善向上など抜本的な対策を講ずる必要があるため、関係機関との連携強化を図りながら取り組んで参ります。

さとうきびにつきましては、3年間大きな台風の直撃がなく全体的には品質も良く豊作型で今期製糖期を迎えましたが、依然として栽培農家の高齢化問題、気象条

件の影響を受けやすいことや、地方の低下による反収低下の問題等がありますので、堆肥センターの活用による反収増加や荒蕪地解消事業による生産拡大を図って参ります。また、今後とも安心してさとうきび栽培ができるように機械化対策を始めとして病害虫防除対策や農業共済の加入促進を図って参ります。

野菜、花卉、果樹栽培につきましては、土地条件を生かしながら生産拡大を推進し、引き続き栽培技術の向上による安定的な所得の向上を図り、担い手農家の育成、後継者の育成等に努めて参ります。これまで露地野菜の生産拡大を推進するうえで課題となっていた農産物加工施設については、沖縄離島振興特別対策事業を活用し今年度からの2年事業として整備を図って参ります。

葉たばこ栽培につきましては、昨年に引き続き天候に恵まれたこともあって品質・生産量共に良い状況にあり、引き続きさとうきびとの輪作体系を維持しながら地方を高め所得の安定向上に努めて参ります。

畜産につきましては、昨年4月に宮崎県で発生した口蹄疫によって畜産関係者は精神的、経済的打撃を受けて大変厳しい状況にありましたが、生産農家を始め関係者の早急な対策により何とか窮地を乗り越えてきました。また、去る1月に県の肉用牛拠点産地に認定されており関係者が連携を取りながら高1層、品質向上に努めて参ります。今年度も優良繁殖雌牛保留支援事業の継続や家畜防疫体制の強化、家畜共済加入支援等を実施し農家所得の安定向上を図って参ります。

特殊病害虫のアリモドキゾウムシ、イモゾウムシ防除対策については、国、県と連携し引き続き、防除事業を実施して参ります。アリモドキゾウムシにつきましては、本年度に国の確認作業により根絶宣言がなされる見込みですが、根絶確認作業を計画通り実施していくためには、島外からの寄生植物の持ち込みによる再発防止対策が必要であり、地元住民のご協力が大変重要であります。町民への啓蒙活動を推進しながら、県と

歩調を合わせ事業推進を図って参ります。また、併せて甘蔗栽培についても積極的に生産振興を図って参ります。

堆肥化施設につきましては、畑作物栽培の基本的な部分である地力増進対策に向けて、有効的な活用が図れるように取り組んで参ります。

また、本町の重要課題として食の安心、安全の推進を図ると同時に循環型農業を目指し、地域で取れたものは地域で消費する地産地消運動を推進して参ります。

(2) 漁業の振興

漁業は、農業と共に島の基幹産業であり、引き続き、漁業後継者の育成や所得向上に積極的な振興を図って参ります。

これまでバヤオ(浮魚蕉)漁業を主とした漁業の推進を図って参りましたが、大きな課題でありましたバヤオ補修の対策を図るためのバヤオ敷設作業船(イカダ型)も完成し、台風や大型船などによる事故でバヤオ流出に即対応できる体制ができました。また、長期的な漁場を確保するために中層浮漁礁の設置についても計画的に事業を実施して参ります。

モスク養殖につきましては、販路開拓も視野に入れながら安定的な養殖栽培ができるように推進を図って参ります。

また、車エビ養殖についても車エビ産地協議会を中心にPR活動を図りながら販路拡大に努めて参ります。

(3) 商工業の振興

日本経済の低迷により厳しい状況にある本町の商工業振興にあたり、関係団体と連携を密にし支援策を講じて参ります。

本年度は特産品開発や事業化、農商工連携などの地域振興事業を支援して参ります。また、商工会と連携し資金や雇用面などの改善策として、国や県のセーフティネットなど支援制度の活用を推進して参ります。

久米島紬の振興策として、久米島紬の販売促進、後継者育成事業などを支援して参ります。また、久米島海洋深層水関連商品の全国展開を推進して参ります。

離島交通については、航空や船舶、陸上交通など公共交通の安定確保に努めて参ります。

(4) 観光産業の振興

昨年は急激な観光入域客減少への対応策として、久米島観光危機突破対策事業を実施し、新たな商品開発やイベント開催、久米島観光の日(球美の日)の設定、広報宣伝など、実効的な誘客プログラム「ジョン」や受入推進施策を展開してきましたが、まだ十分な回復傾向には至っており、今年度も引き続き緊急的課題として取り組んで参ります。

久米島のホスピタリティを全国へ発信する高齢者・食物アレルギー対応旅行の推進、ハテの浜と並び久米島観光の目玉であるパーテハウス久米島の利活用を図り、町民の健康増進、経営の健全化に努めて参ります。

また、国の緊急雇用対策事業を活用し、体験型観光受入体制強化事業、外国人等観光受入人材育成事業を実施して参ります。

引き続き、久米島の一大イベントである久米島マラソン、久米島まつり、久米島のんびりウォークなどの開催、そして東北楽天ゴールデンイーグルスの春季キャンプの継続誘致など、久米島を全国へアピールし、観光振興による島の活性化に努めて参ります。

3 教育環境の充実、人材育成の推進

今年度から新学習指導要領が小学校において実施され、その指針の一つとして、言語活動の充実を図る取り組みが求められていますが、本町では、各学校で図書管理システムを導入し、子供達が図書との関わりを深め、読書により思考力、表現力を養うことができるよう取り組んで参ります。また、これまで学力向上対策につきましては、町単位で実施して参りましたが、子供達の支那は、家庭・地域住民・その他の関係者との連携協力がますます重要となるため、今年度から各中学校単位での学力向上対策の取り組みを強化して参ります。

学習支援体制につきましては、各小、中学校情報化の整備、漢字検定、英語教育の充実を図るため非常勤の英語教師の配置、ALTの配置、英語検定の継続支援、また、特別支援教育支援員を配置し、特別支援教育

の推進体制強化、不登校やいじめ・なやみ等に対処するため、引き続きスクールカウンセラーを配置します。部活動では、スポーツ面文化面においても限らない可能性を秘めており、派遣・交流活動の支援を行って参ります。また、久米島高校の生徒育成支援についても継続支援を行って参ります。

学校統廃台につきましては、児童生徒数の減少により複式学級の増加が課題となっており、将来の小学校の統廃台も見据えた議論も深めながら仲里中学校と久米島中学校の統廃台に向けて取り組みを進めて参ります。

社会教育においては、生涯学習の充実を図るため、ヤングフェスティバルや新春書道展、また、各種講座・体験活動事業等を展開し、幼児から高齢者に至るまで、すべての町民が生き生きと学習活動ができるよう支援して参ります。また、交流事業として、なかさと交流・海外ホームステイ事業を継続実施し、児童・生徒の視野を広げ、将来の久米島を担う人材育成に向けて取り組んで参ります。

社会体育では、B&Gプールでの水泳教室、また、各種スポーツ大会等の開催、久米島町体育協会への支援を図り、児童生徒の体力・技術向上を目指します。

文化振興につきましては、久米島古典民謡大会を開催するとともに久米島町文化協会との連携を図りながら充実発展に努めて参ります。

文化財行政は、平成14年度に沖縄県登録博物館第8号となっていた久米島自然文化センターを今年度、久米島博物館として名称を改め、常設展示場の充実、各種展示会・企画展の開催等、久米島の文化振興の拡充に向け取り組んで参ります。また、国指定の具志川城跡は石積み修復作業等で保護活用を図り、宇江城城跡は、新たな整備計画・保存管理計画の策定に取組んで参ります。久米島船は久米島船保持団体・久米島船事業協同組合と連携し保護・継承拡充に向け取り組んで参ります。

学校給食センターは、築34年と老朽化していますので、建設推進委員会を設置し、施設の改築に向けて取り組んで参ります。また、地元で取れた食材を給食に取り入れら

れるよう、地産地消の拡大に向け関係機関と連携を図り、児童・生徒への「安全・安心・美味し給食」の提供に努めて参ります。

4. 福祉の充実

町民福祉の充実につきましては、保健・医療・福祉サービスの連携による地域福祉の充実を図り、すべての町民が安心して健やかに暮らせる福祉のまちづくりに積極的に取り組んで参ります。

高齢者福祉につきましては、配食サービス事業やふれあいコール事業を活用し、二人暮らし高齢者や高齢者世帯の安否確認を行い、高齢者の安心・安全の確保に努めて参ります。また、高齢者に対する虐待防止や権利擁護のため、包括的ケアを充実させると共に、増加傾向にある認知症本人とその家族を支える仕組み作りのため、認知症地域支援体制構築推進事業を実施して参ります。

高齢者の病気を予防し健康で安心した生活が送れるよう今年度も「季節性インフルエンザ」及び「肺炎球菌ワクチン」接種に対する助成を実施して参ります。

障害者福祉につきましては、「地域活動支援センターあけぼの」を久米島町社会福祉協議会に業務を委託し、障害者の居場所づくり、就労移行支援の場として機能強化に努めて参ります。また、地域自立支援協議会を設置し障害者及び家族の相談に応じ必要な情報の提供と援助を行って参ります。

介護保険事業につきましては、第4期事業計画で本町において計画されている小規模特養施設25床と小規模多機能施設登録25名、通い15名、泊まり9名の整備が遅れていますので早期整備を促進して参ります。また、各社会福祉法人及び事業所との連携を強化し、適正な介護給付に努めて参ります。

介護保険第4期事業計画が今年度で終了することから、第5期事業計画につきましては、「日常生活圏域」一調査の結果をふまえ、沖縄県介護保険広域連合と連携し事業計画策定に取り組んで参ります。

母子及び児童福祉につきましては、従来の児童生徒に対する各種予防接種に加え、今年度は乳幼児を対象とした「ヒブ」二小児

肺炎球菌、「中学1年生から高校1年生の女子を対象とした子宮頸がん予防ワクチン」接種に対する助成を実施して参ります。

また、妊産婦のための各種教室の開催や保健師による巡回相談等を実施し、妊産婦・乳幼児児童の健康管理に努めると共に今年度も出産助成金を支給し、妊産家庭の経済的負担の軽減を図って参ります。

保育行政につきましては、益々多様化・複雑化してくる保育ニーズに迅速かつ的確に対応していくためには、保育所の民営化は最善の選択肢であると考えますので、保育所の民営化に向けて取り組んで参ります。

次に、健康づくりは、運動、食生活、健診をセットに町民が生き生きと心豊かに生活するために今年度は「生涯に渡る健康管理システム構築事業」を導入し、小学校5・6年生、中学校、高校生を対象に特定健診を実施し、健診結果に基づき健康意識の高揚、食生活の改善に向けた指導を行って参ります。また、2年に一度の婦人健診の実施年度にあたりますので、女性特有のがん検診を実施する等受診率の向上とがんの早期発見に努めて参ります。

公立久米島病院につきましては、町民の医療の確保、プロ野球キャンプ誘致等、島内経済へ大きく貢献していることから、存続に向けて公設民営化を検討して参ります。

国民健康保険事業は、医療費の上昇や保険収入の低下等により厳しい財政状況が続いておりますが、地域医療の確保及び町民の健康増進に重要な役割を果たして参りますので、引き続き健康づくりの普及・啓発に取り組むと共に、保険料の取納率の向上等に積極的に取り組み自主財源の確保と国民健康保険財政の健全化に努めて参ります。

国民年金事業は、国民年金への加入促進を図ると共に、保険料の納付が困難な町民に対し、申請免除の指導を積極的に行い、将来の年金受給権の確保に努めて参ります。

5. 環境保全と地域美化

豊かな自然環境の中で、快適で潤いのある生活を営むことは町民みんなの願いであり、そのための住みよい環境づくりは、行政に課せられた重要な責務であります。

一般廃棄物処理につきましては、浪費型

の生活様式により排出されるゴミの量も増大しており、引き続きゴミの減量化や適正処理及びゴミの不法投棄の監視等に努めて参ります。

赤土等流出防止対策につきましても、監視体制・指導の強化やグリーンベルトの設置などの実証試験を引き続き実施して参ります。

環境美化につきましては、公園や町道・緑地等の美化作業の強化に努めて参ります。また、地域住民やボランティア団体と連携し緑と花を増やして参ります。

6. 基盤整備

住環境・産業振興の基盤となる道路整備については、現在継続中である県道整備事業を始めとし、町道整備事業（久米島縦断線）においても工事進捗の促進に努めて参ります。

本町の町道整備につきましては、ある一定の整備率に達してはいるものの未だ整備が必要な箇所があり、新規事業の導入に向けて取り組んで参ります。

農村地域関連整備事業につきましては、農業の後継者不足対策として比屋定・大岳地区において中山間地域総合整備事業を継続的に進めて参ります。また、老朽化している仲里土地改良区管轄の畑地かんがい排水施設を地域農業水利施設ストックマネジメント事業を導入し改修工事を推進して参ります。

漁港関係の整備として、漁村再生交付金事業により島島漁港及び「磯間漁港」において漁業従事者の安全確保及び就労環境の改善を図るためのインフラ整備を行って参ります。また、強い水産業づくり交付金事業で地元住民と観光客の交流促進のため泊フィッシャリーナの浮き桟橋の増設工事を進めて参ります。

民生安定施設整備事業で、町民の健康増進や福祉観光客との交流の場として「磯間・嘉手刈地先にパークゴルフ場の建設工事を推進して参ります。

県営事業の支援として、圃場や農作物への水害解消農家所得の向上と農業経営の安定確保を目的とした県営かんがい排水事業（銭田地区・カンジン3期）の工事進捗の促進に向けて取り組んで参ります。

7. 消防防災行政

消防防災については、社会情勢の変化とこれに伴う地域社会の変化により、災害の態様も複雑多様化し、さらに高齢化が進むことにより、災害対応能力の確保の困難性など新たな問題も発生しております。地域における災害対応能力の更なる向上が求められており、そのためには多くの住民がその役割と責任を自覚し、積極的に連携協力していく必要があります。今年度は救命救急体制の充実、一般家庭における住宅用火災警報器の設置促進、消防団・自主防災組織の強化を掲げ、地域住民連携のもと、災害に強く安全で安心して暮らせる町づくりの実現に向け、取り組んで参ります。

よって、平成23年度予算案の総額は、次のとおりであります。

一般会計	6,865,258千円
国民健康保険特別会計	1,261,445千円
後期高齢者医療特別会計	75,963千円
下水道事業特別会計	257,660千円
水道事業会計	412,322千円
合 計	8,872,648千円

以上、平成23年度の町政運営にあたり、私の所信や予算案などについて、述べて参りました。

私は町民と共に知恵を出し合い島の特性や優位性を活かし、子供達が「心豊かで元気な町づくり、若者が「将来に希望のもてる町づくり、お年寄りが「安心」して暮らせる町づくりを実現するため、職員一同「使命感」を持って、所存であり、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成23年3月9日

久米島町長 平良 朝幸



4月からの公立久米島病院

院長 村田 謙二

何回か新聞記事にもなりましたが、当院の新年度の医師不足問題、その後の報道が無いので、ご心配の方も多と思います。ご説明致します。結論からご報告しますと、常勤医7名のうち6名は確保できました。ご安心下さい。新たな医師の体制をご説明します。

まず、整形外科医に関しては、今年度も残念ながら常勤医は不在です。幸いなことに、昨年度同様、ロクト整形外科クリニックと浦添総合病院整形外科の先生方が、1週間交代の輪番で応援して下さいます。小児科は伊藤淳医師の東京大学大学院進学に伴う退職後、県立南部医療センター・こども医療センターから矢崎幸医師が赴任します。女性で医師7年目です。

内科は、座喜味盛哉医師が県立中部病院に転出しました。新体制の内科は、現任の深谷幸雄医師と富田秀春医師（5月末で郷里の高知市へ戻るため退職予定です）に加えて新たに3名の医師が赴任します。岡田和滋医師（54才、前任地は自衛隊中央病院、専門は消化器外科）田中慶太医師（37才、兵庫医大卒、専門は消化器外科、現在内科研修中）藤岡丈士医師（29才、前任地は佐賀社会保険病院内科、医師5年目です）です。ベテラン、中堅、若手が揃います。赴任したら、この紙面で、各自に自己紹介をしてもらうつもりでいます。

最後に院長の私です。私は通常ならば県からの出向の辞令で、3年で任期を終えるところですが、自ら希望してもうしばらく残ることにしました。当院は今大きな岐路にたっています。12年前、病院設立準備の際、「公立久米島病院の医療要員の確保について」で「福祉保健政策課は、沖縄県離島医療組合に職員を派遣するに当たっては、その都度病院管理局に協議すること。」との合意がなされました。協議とは、実質県立病院からの職員の派遣でした。しかし、時代が変わり、全国的な医師不足、医師偏在の折、沖縄県も県立病院自体が、医師を含めてほぼ全職種が人手不足に陥り、派遣の余裕がなくなりました。

このまま、手をこまねいていたら病院として存続できません。思い切った改革が必要です。改革の内容を述べるには紙面が足りません。いずれまたご説明したいと思います。改革は、もちろん島民の皆様のご意見も十分にお聞きしながら進めるつもりでおります。改革が終わるまでは、私は島に残る決意を皆様にお伝えしてひとまず筆を置きます。

4月1日から 午前の受付開始時間に変更になりました！

(変更前) 8:00 → (変更後) 8:30

■公立久米島病院常勤医師の異動について

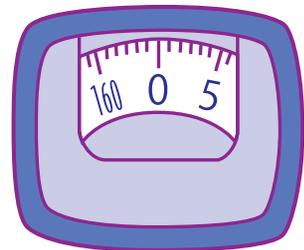
		氏名	備考
継 続	院 長	村田 謙二	
	内 科 医	深谷 幸雄	
	内 科 医	富田 秀春	H 23.5 まで
	整形外科	ロクト整形外科クリニック・浦添総合病院	1 週間交代輪番制
新規赴任	内 科 医	岡田 和滋	
	内 科 医	田中 慶太	
	内 科 医	藤岡 丈士	
	小 児 科	矢崎 幸	
転 出	内 科 医	座喜味盛哉	県立中部病院
	小 児 科	伊藤 淳	東京大学大学院



平成23年度 久米島町特定健診・長寿健診・ガン健診の日程が決定しました。

あなたの体が大事に至る前に体の状態の確認を!
家族・友人を誘ってみんなで健康診断を受けましょう!

期 間:6月1日~6月15日(15日は午前中のみ)
場 所:具志川改善センター
受付時間:(午前)8時~11時、(午後)1時~2時半
地区割り当てについては次のとおりです。



日 程	地 区 割 当 て
6/1 (水)	儀間、山城
6/2 (木)	島尻、銭田、真我里
6/3 (金)	イーフ、比嘉、比屋定、上・下阿嘉
6/4 (土)	企業健診
6/5 (日)	(健診機関と契約している事業所のみ)
6/6 (月)	真謝、宇根、真泊、泊、東・西奥武
6/7 (火)	謝名堂、宇江城
6/8 (水)	仲村渠、具志川、仲地、山里

日 程	地 区 割 当 て
6/9 (木)	西銘、大原、北原
6/10 (金)	企業健診
6/11 (土)	(健診機関と契約している事業所のみ)
6/12 (日)	兼城、鳥島
6/13 (月)	仲泊、久間地、上江洲
6/14 (火)	嘉手苺・大田
6/15 (水)	全地区(午前中のみ受付)

※地区割り当て日で都合が悪い場合は、都合の良い日に受診することができます。

※健診は全日程、具志川改善センターで行いますので、ご注意ください。



お問い合わせ：久米島町役場
福祉課 TEL985-7124

HTLV-1抗体検査・クラミジア抗原検査について

平成23年4月1日から妊婦検診にHTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルスタイプ1)抗体検査・クラミジア抗原検査が追加されます。

HTLV-1とは

ATL(成人T細胞白血病)はHTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルスタイプ1)というウイルスによっておこる病気です。

お母さんがこのウイルスを持っていると、母乳によって赤ちゃんに感染する可能性があります。

妊婦さんがウイルスを持っているかどうかは、血液検査でわかります。もしウイルスを持っていた場合は、育児用のミルクや3ヶ月までの短期間の授乳、凍結母乳をあげるなどの方法を選択することで赤ちゃんへの感染率を減らすことができます。

※HTLV-1抗体検査は、できるだけ妊娠30週頃までに3~5回目の検診の際に検査してください。



クラミジア抗原検査とは

クラミジア・トラコマティスという病原体に感染しているかどうかを調べる検査です。

この病原体に感染していると、お母さんは破水や早産の原因になり、赤ちゃんは新生児クラミジア結膜炎や、クラミジア肺炎になる可能性があります。

※クラミジア抗原検査は、できるだけ妊娠30週頃までの検診時に検査してください。

平成23年3月9日以前に親子健康手帳の発行を受けた妊婦さんには個別通知を送っていますので、詳しくはそちらをご覧ください。

*HTLV-1・クラミジアについてのご相談は・・・

- ◎かかりつけの産科医療機関
- ◎久米島町福祉課



一人で悩まずに、専門家に相談してみましよう。

お問い合わせ・申請窓口

久米島町福祉課

電話:098-985-7124

お薬(サプリメント等)の訪問販売について

最近、各家庭を訪問し、「あなたは血管の状態が悪いのでこの薬を飲んだ方がいいですよ！」などと言い、サプリメントなどの健康食品の販売をおこなっている業者がいるようです。

健康食品とは医薬品とは違い、栄養補給や、健康維持を目的として、普通の食品よりも健康にいいものとして売られているものです。

しかし、その健康食品を上例のように「特定の〇〇の症状に効く」と言い販売を行うのは、薬事法違反となり、取締まりの対象になってしまいます。

訪問販売で薬や健康食品(サプリメント等)を買ってはいけないというわけではありませんが、きちんと医師と相談してから服用しないと、症状がより悪化してしまう可能性があります。

あなたの健康のためにも、お薬はかかりつけの医師と相談して服用しましょう。



TOWN TOPICS
町の話題

農林水産大臣賞受賞!

2月6日に那覇市の県立武道館で開催された「おきなわ花と食のフェスティバル・2011」の園芸部門において、島袋政信氏(西銘)が最高賞の農林水産大臣賞を受賞した。また、新垣盛俊氏(宇大原)が大ギク部門で銀賞を、葉物部門で銅賞を本永栄氏(宇山里)が受賞し、3月1日(火)太陽の花久米島支部長らと平良町長に受賞の報告を行った。



「お願いします」を伝えます!

3月4日(金)NTT西日本沖縄支店上原信也法人営業部長より、「電話お願い手帳」が大田副町長、平良曾清社協会長へ贈呈された。

これは同社が昭和58年から毎年、耳の日に地域への貢献を目的に、耳や言葉の不自由な方に替わり「お願いします」を伝える同手帳を県内各地に贈呈しているもので、上原部長は「毎年好評を得ているので、地域のみなさまの要望がある限り続けていきたい」と話した。平良会長は「耳の不自由な方と健常者の皆さんとのコミュニケーションがとれるのではないかと期待している。有効に活用させていただきます」とお礼を述べた。



助っ人現れる!

製糖期真っ只中で、猫の手も借りたい時期に、助っ人が参上した。久米島町が好きで久米島マラソンへ参加した際、町民の応援や大会スタッフの対応に感激、定年を機に何か恩返しをとさとうきび収穫の手伝いを申し出た林口秀司さん(和歌山県在住)。2月19日(土)から1週間、収穫作業を行った。

「体力に自信あり」と望んだ林口さんだったが、はじめてのキビ刈りに要領がつかめず悪戦苦闘したが、3日目あたりから慣れ「さとうきび収穫作業はとても良い経験になった」と話した。

久米島は、海もきれいで空気・料理・お酒が美味しく、体重が増えたという林口さん。今後も久米島町を訪れて欲しい。



夢に向かって!

県立泊高等学校久米島協力校で、強い目的意識を持って学業に励んできた、仲地挑(いどむ)さん、田中誉晶(よしあき)さんが卒業した。二人の巣立ちに家族も駆けつけて喜びをわかちあった。



「桃の花」でひとあし早い春を!

3月2日(水)日本トランスオーシャン航空(社長 大森徹)照屋正久米島支店長より「ひとあし早い春を感じて下さい」と岡山県の県花『桃の花』が特別養護老人ホームくめしまへ贈呈された。

これは、岡山と沖縄の交流を深め、沖縄とは違う趣の「春」を楽しんでもらおうと1996年から実施されているもので、今年も西大寺観光協会(小山秀朔会長)から680本の桃の花が県内各地へ届けられた。

武藤代表は「毎年、桃の花をみることで季節の移ろいを感じることができ、お年寄りも元気に暮らすことができる」と感謝した。



第40回なかさと交流会訪問団(大川実団長(大岳小学校長)、児童14名・引率7名)が、2月17日(木)から20日の日程で新潟県十日町市(中里地区)を訪れた。久米島とは異なる気候風土や文化、生活習慣を直接体験することで視野を広げる事を目的に学校交流やホームステイ、スキーなどを体験した。一面に広がる銀世界、子ども達は初めて見る雪に大きな歓声をあげ、雪合戦やソリを楽しんだり、真っ白な雪の上に寝っ転がったりと大はしゃぎした。

平成3年から始まり今回で第40回、20年の節目を迎えた「なかさと交流」。今回も多くの子と出会い、家族の皆さんの温かい心に触れ、雪国での体験をとおして友情を深め、7月の夏の交流会、久米島での再会を約束し、大きく成長した姿で帰島した。



桃原 あすか
7月には新潟県からの交流生をみなで大歓迎したいです。
(仲里小)



雪国の生活を体験!

なかさと交流会

稲荷 太良
スキーと雪合戦が楽しかったです。十日町のみなさんに感謝です。
(清水小)



山里美沙紀
友達もたくさんできて、雪遊びや千マキ作り等、見て・触って・体験できて楽しかったです。
(大岳小)



宮里 稔也
雪を見て感動しましたよ。スキー最高でした。
(比屋定小)



大田 康介
スキーがとても思い出に残っています。7月には新潟の交流生が来てくれるの楽しみです。
(大岳小)



仲里 海
スキーの急坂はスピードが出すぎてこわかったです。
(美崎小)



又吉 光史朗
久米島と新潟県の暮らしの違いについて学びました。
(仲里小)



山口 美麗
十日町の子とたくさんお友達になれました。一生の思い出です!
(清水小)



内間 瑠加
久米島ではできない雪遊びが楽しかったです。雪サイコー!
(清水小)



宮城 洋人
目野小の子は優しく言葉遣いも丁寧でした。見習いたいです。
(久米島小)



大宮 功幹
雪がふわふわして気持ちよかったです。
(美崎小)



與座 紀香
初めて雪を見て感動しました。とても楽しかったです。
(比屋定小)



備瀬 健也
楽しかったことはスキー体験で、どんどん滑れるようになりました。
(仲里小)



嘉手苺 妃那
交流の経験をいかして、何にでも積極的にチャレンジしたいです。
(久米島小)



下水道使用料の改定のお知らせ

日頃、下水道事業につきましては、ご理解ご協力を頂きありがとうございます。
この度、平成23年4月分より下水道使用料を改定させていただくことになりましたのでお知らせします。

下水道使用料金改定の理由

下水道事業は本来、その運営に要する経費については、一般会計が負担することとされている経費を除き、その全額を使用料で賄うという受益者負担の原則に基づく公営企業です。

しかしながら本町の財政は、厳しい状況にあり、行財政改革に取り組む中で、下水道会計においても一般会計からの繰入金の見直し、維持管理費の増加等の要因により、現行の使用料で推移いたしますと、その経営がよりいっそう厳しい状況になりますので、今回の使用料の改定につきまして、ご理解くださいますようお願い致します。

下水道使用料金改定の内容

●下水道使用料改定の内容

区分	排水汚水量	改訂前	改訂後
基本使用料	8㎡まで	285円	500円
超過料金 (1㎡につき)	9㎡を超え 20㎡まで	42円	73円
	21㎡を超え 30㎡まで	51円	89円
	31㎡を超えるもの	57円	100円

下水道への早期接続を!!(お願い)

下水道への接続は、供用開始後、3年以内に公共マスへ接続するよう法律で義務づけられております。
接続可能な地域で、ご家庭の排水設備を公共下水道へ接続していない世帯は、はやめに接続するようにしましょう。

●接続手続き

接続申請書は、上下水道課(下水道係)に備え付けてありますので、必要事項をご記入の上、上下水道課へ提出してください。

●接続費用

接続工事は、建築物の所有者に義務づけられ、費用についても所有者負担となっております。

●下水道接続の特例

下水道接続後、5年間の下水道使用料を免除する。(新築を除く)

●貸付制度

無利子の下水道接続資金貸付制度がありますので、お気軽にご相談を。



下水道料金に関するお問い合わせ

上下水道課(下水道係) TEL985-2066 FAX985-2856

消防だより



平成23年 春季火災予防運動実施されました!

TEL098-985-3281

この運動は、『火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、もって火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的』として、平成23年3月1日(火)～3月7日(月)の7日間全国一斉に行われました。

この期間中、一日消防長に委嘱された久米島紬観光レディー齋藤薫さんが、リゾートホテル久米アイランドの防火対象物査察を実施し火災予防を呼びかけました。

～ 林野火災防ぎ訓練実施! ～

春季火災予防運動週間の一環として、3月4日(金)に林野火災防ぎ訓練を久米島町字銭田池付近にて実施しました。この訓練では、林野火災を想定し、火災防ぎ技術及び地域住民への防火思想の普及を図る目的で行われ、消防職員・団員が参加し迅速且つ的確な訓練が行われました。

※全国統一標語

『消したかな』 あなたを 守る合言葉



2月出動状況 ()は、平成23年累計

- | | |
|-----------------|----------------|
| • 救 急33件 (68件) | • 風水害 0件 (0件) |
| • 火 災 0件 (件) | • 捜 索 0件 (0件) |
| • 救 助 0件 (件) | • その他 1件 (2件) |

合 計 34件 (70件)

レーションなどにより入山者が増えることによるものと考えられます。

林野火災の消防活動は、消防水利の不足や道路状況が良くないなどの地理的、地形的条件から困難を伴う場合が多く、特に空気の乾燥や強風等の気象条件も加わると、火災が広範囲に広がる危険性があります。

森林は、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を吸収し、生命に必要な酸素を供給する貴重な資源であり、一度焼失してしまうと再生するまでに長い年月と多くの労力や経費を要するとともに、保水能力が低下し、台風や集中豪雨などの大雨に伴って土砂崩れなどの自然災害を誘発する恐れがあります。林野火災の多くは、皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。

貴重な森林資源、さらには人命や財産を火災から守るため、林野での火気の取扱にはくれぐれも気をつけましょう。

失火による林野火災を未然に防ぐため、次のような点に注意しましょう。

- 枯れ草等のある火災が起りやすい場所では、たき火をしないこと
- 火気を使用する場合は、気象状況、周囲の可燃物の状況に十分注意するとともに消火用の水等を必ず用意すること
- たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること
- 強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと
- 火入れを行う際、許可を必ず受けること
- たばこは指定された場所で喫煙し吸いながらは、必ず消すとともに投げ捨てないこと
- 火遊びはしないこと



住宅用火災警報器の義務化について!

1なぜ「住宅用火災警報器」が必要なのか?

- 火災の発生に気づくのが遅れ、「逃げ遅れ」によって多くの方が亡くなっています。
- 火災の発生時間は、22時から翌朝6時までの就寝時間帯に多く発生しています。
- 9割が住宅火災で亡くなっています。
- 6割が65歳以上の高齢者です。



2いつから設置が必要になるのか?

平成16年6月に消防法が改正され、住宅火災での逃げ遅れによる死者の低減などを目的にすべての住宅に『住宅用火災警報器』を設置することが義務づけられました。新築の住宅については平成18年6月1日から、既存の住宅については平成23年5月31日までに『住宅用火災警報器』を設置しなければなりません。

3住宅用火災警報器の種類は?

- 煙式** 煙が住宅用火災警報器に入ると音や音声で知らせます。
- 熱式** 住宅用火災警報器の周囲温度が一定の温度に達すると音や温度で知らせます。

4どこに取り付けるのか?

住宅用火災警報器は原則として、寝室と寝室がある階段には、必ず設置しなければなりません。取り付け方法も定められていますのでイラストを参考にして下さい。



林野火災の発生状況及び注意点

国内における林野火災は、例年春先に多く発生しています。

平成20年中は、2月から4月までの間に1,072件の火災が集中して発生しました。平成21年は4月に最多の600件を数えた他、3月から5月までの間に1,250件の火災が発生しています。この時期に林野火災が多いのは、枯葉が地上に積もり、下草も枯れているうえ、降雨量が少なく、空気が乾燥し、季節風が吹くなど林野火災が発生しやすい気象条件が重なっていることに加え、春先になると火入れが行われたり、山菜採りや森林レク



国民年金保険料が改定されます。



平成23年度4月から保険料が **月額 ¥15,020円**

保険料は毎年度改定されますが、平成23年度は、前年度より80円引き下げられた月額15,020円となります。毎月の保険料は、日本年金機構から毎年4月の月上旬に送られてくる1年分の「納付書」によって翌月の末日までに納めます。なお、保険料は2年を過ぎると納められなくなりますのでご注意ください。

納付の窓口は、各金融機関(ゆうちょ銀行を含む)またはコンビニエンスストアとなっています。また、ほとんどの金融機関で口座振替もできます(年金事務所でも口座振替のお申し込み(郵送も可)ができます)。

変更があつたらわずに

	こ ん な と き	変更後の種別	届 出 先	
加入や種別変更などの届出	20歳になった方	学生、自営業、自由業、無職などである	第1号被保険者	市 区 町 村
		厚生年金や共済組合等に加入している配偶者に扶養されている。	第3号被保険者	配偶者の勤務先
	第1号被保険者	就職して厚生年金や共済組合等に加入した。	第2号被保険者	勤 務 先
		結婚や減収で厚生年金や共済組合等に加入している配偶者に扶養されるようになった。	第3号被保険者	配偶者の勤務先
	第2号被保険者	厚生年金や共済組合等に加入していた会社を退職した。	第1号被保険者	市 区 町 村
		退職して厚生年金や共済組合等に加入している配偶者に扶養されるようになった。	第3号被保険者	配偶者の勤務先
	第3号被保険者	増収や離婚などで配偶者に扶養されなくなった。	第1号被保険者	市 区 町 村
		配偶者が厚生年金や共済組合等に加入していた会社を退職した。		
		配偶者が65歳になり第2号被保険者ではなくなった。	第2号被保険者	勤 務 先
		就職して厚生年金や共済組合等に加入した。		
		第3号被保険者	配偶者の新しい勤務先	

	こ ん な と き	届出先
第1号被保険者	住所や氏名の変更、付加年金の加入・任意加入の希望。	市区町村
	年金手帳の紛失、保険料の免除等申請を希望するとき。	市区町村または年金事務所
	納付書を紛失した、前納の納付書が欲しいとき。	年金事務所
	口座振替の申込み。	金融機関または年金事務所
第2号被保険者	住所や氏名の変更	勤務先
	年金手帳の紛失。	勤務先または年金事務所
第3号被保険者	住所や氏名の変更。	配偶者の勤務先
	年金手帳の紛失。	年金事務所
共 通	国民年金保険料の追納申込み。	年金事務所

■年金に関するお問い合わせ・・・

浦添年金事務所 国民年金課 877-0511
久米島町役場 福祉課 985-7124

「認知症」を予防する!～生活習慣のポイント～

認知症は高齢になれば誰もが起こりうる脳の病気です。ただ、予防を心がけることで認知症にならないようにしたり、進行を遅らせたりすることも可能な病気です。

認知症の予防法…認知症にならないようにする為の大きな要素は「病気の管理」

①定期健診を受けましょう。

- 肥満・糖尿病・高血圧・高脂血症(脂質異常症)を防ごう
体中の血管がもろくなってきますので、「脳血管性認知症」の要因になります。
血圧のコントロールやコレステロールや中性脂肪をコントロールし、血管の中に脂がたまらないようにすることが大切です。

②適度な運動を習慣化しよう!

- 適度な運動は脳の新陳代謝を活性化し、血流も活発になります。30分程度歩くのも効果的です。予防だけでなく認知症の人にも有効です。

③バランスのとれた食生活を心がけよう。

- 魚や緑黄色野菜には動脈硬化を防ぎ、脳の老化をおさえる効果があります。野菜をたくさん食べるように心がけましょう。
- 水分も十分に取らしましょう、脱水予防が大事です。

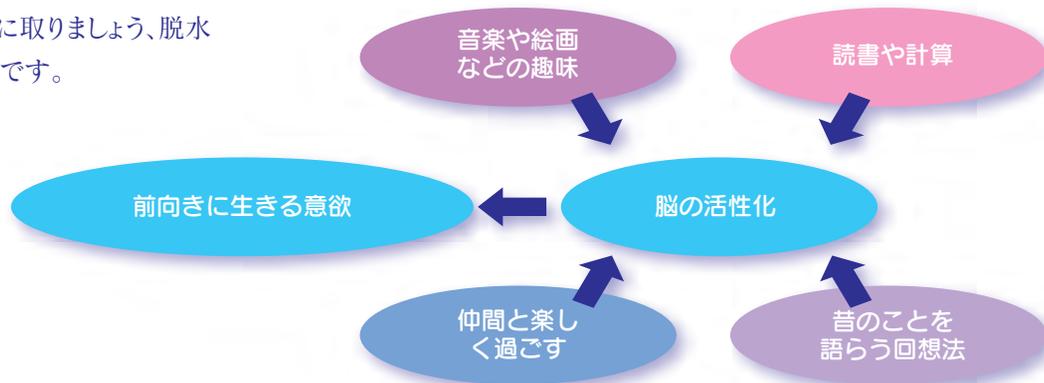


④節酒・禁煙を心がけよう。

- 1日3合以上のアルコールを飲み続けると、脳が萎縮してアルコール性認知症を発症する危険が高まります。週に2日は休肝日を設けましょう。
- 喫煙は血管を収縮させて血圧を上昇させます。動脈硬化を促進させ脳血管疾患の誘因になるので、禁煙を心がけましょう。

⑤脳の活性化を図ろう。

- 脳の活性化の秘訣は仲間と楽しく行うことです。



運動教室に遊びに来ませんか?

運動教室では看護師による血圧測定、家でも出来る運動、ゲーム、折り紙などをします。自分で行けない方には送迎を実施していますので相談に応じます。

月曜	13時半～15時半	北原公民館
火曜	9時～11時	宇江城公民館
火曜	13時半～15時半	仲地公民館
水曜	9時～11時	謝名堂公民館
水曜	13時半～15時半	銭田公民館
木曜	9時～11時	鳥島公民館
木曜	13時半～15時半	真謝公民館
金曜	13時半～15時半	嘉手苧公民館



※65歳以上の方はどなたでも大丈夫です。お近くの公民館にお気軽にご参加ください♪

《お問い合わせ》 福祉課 TEL:985-7124(吉永・柴岡・森畑)

ハブ(死骸)の買い取りをします。

町では、平成23年度過疎債ソフト事業を活用し、町民の安全な住環境を整えるため、ハブ捕獲駆除として「ハブの買い取り」を実施します。



【買い上げ期間】

平成23年4月1日から計上予算の範囲内です。

ハブ1匹 2,000円(大小に限らず)

*頭をつぶす等、処置をして持参下さい。

持ち込み場所(買い上げ手続き)久米島クリーンセンター(焼却場)へ持ち込んでください。

持ち込みの際、現金買い上げではありません。口座振り込みになりますので、通帳等持参下さい。

ハブは、大変危険な生物です。扱いに慣れている人でも咬傷事故がありますので、取り扱いには細心の注意をして下さい。

【問い合わせ】

久米島町役場 環境保全課 TEL:985-7126

【持ち込み場所】

久米島クリーンセンター TEL:985-8646

狂犬病予防注射のお知らせ!

平成23年狂犬病集合予防注射を下記の日程で実施いたします。

狂犬病予防注射は年1回受けることが義務付けられています。愛犬と一緒に最寄りの会場へお越し下さい。

【実施日・場所】

5月14日(土)具志川ふれあい公園

5月15日(日)仲里庁舎 正面玄関前

【実施時間】 午前10:00~午後4:00

【持参する物】・役場からの通知書

・犬鑑札

【手数料】注射料金 3,000円

新規登録 3,000円

鑑札再交付 1,600円



☆お願い/愛犬の登録、死亡、住所及び所有者の変更はお早めに届出をお願い致します。

■問い合わせ:久米島町役場 環境保全課

TEL:098-985-7126

ふるさと納税ご寄附がありました



池田 直樹 様 (しまづくり全般)

ご寄附ありがとうございました。

“ふるさと久米島づくり”のために大切に活用させていただきます。

『地デジ機器購入支援します』

《支援内容》

地上デジタル機器の購入費用等の一部(最大12,000円)を支援します。

さらに、対象離島に在住で、テレビの買替によりアナログテレビをリサイクルする世帯に、3,000円支援します。



《支援対象》

下記の条件をすべて満たした世帯のみとなります。

1. 沖縄県在住世帯
2. 現在、世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯
3. 平成21年12月1日以降に初めて対象機器を購入した世帯
4. 受信機等の購入などが、領収書等により確認できること。
5. 総務省が実施する地上デジタル放送受信機器購入等支援事業の支援を受けられない世帯であること

《お問い合わせ》

地デ〜ジ支援し隊事務局

TEL:098-951-2700(平日9:00~17:00)

ホームページ

<http://www.pref.okinawa.jp/chide-ji/>

キクザトサワヘビを守ろう

日本のラムサール条約湿地に久米島町が2008年10月に登録されました。キクザトサワヘビやクメジマボタル、クメジマミナミサワガニなど絶滅が危惧される多くの久米島固有種が生息する久米島独特の生態系で、学術的価値の高い島です。

「種の保存法」に基づく【キクザトサワヘビ】生息地保護区において、農家の取水パイプへキクザトサワヘビが流入する事故が増えておりますので、流入防止対策へのご協力をお願いします。



(対策のされていない取水パイプの写真)



(穴を開けたペットボトルや網を利用し流入防止対策された取水パイプ)

町民カレンダー

Kumejima Calendar

1 金曜日 2月28日	21 木曜日 19日
2 土曜日 29日	22 金曜日 20日
3 日曜日 3月1日	23 土曜日 21日
4 月曜日 2日	24 日曜日 22日
5 火曜日 3日 ・認知症訪問相談窓口 (老人福祉センター/14:00~17:00)	25 月曜日 23日
6 水曜日 4日 ・断酒会(仲里保健指導所/19:00~21:00)	26 火曜日 24日 ・認知症訪問相談窓口 (仲里庁舎1階いこいの間/14:00~17:00)
7 木曜日 5日 ・始業式 ・DPT予防接種(仲里庁舎1階/14:00~15:00)	27 水曜日 25日 ・断酒会(仲里保健指導所/19:00~21:00)
8 金曜日 6日 ・入学式	28 木曜日 26日
9 土曜日 7日	29 金曜日 27日 ・昭和の日
10 日曜日 8日	30 土曜日 28日
11 月曜日 9日 ・入園式	1 日曜日 29日
12 火曜日 10日 ・認知症訪問相談窓口 (老人福祉センター/14:00~17:00)	2 月曜日 30日
13 水曜日 11日 ・学校健診(~14日/各学校) ・断酒会(仲里保健指導所/19:00~21:00)	3 火曜日 4月1日 ・憲法記念日
14 木曜日 12日 ・ポリオ予防接種(仲里庁舎1階/14:00~15:00)	4 水曜日 2日 ・みどりの日
15 金曜日 13日	5 木曜日 3日 ・こどもの日
16 土曜日 14日	6 金曜日 4日
17 日曜日 15日	7 土曜日 5日 ・久米島地区中体連夏季球技大会(~8日)
18 月曜日 16日	8 日曜日 6日 ・母の日
19 火曜日 17日 ・認知症訪問相談窓口 (仲里庁舎1階いこいの間/14:00~17:00) ・食育の日	9 月曜日 7日
20 水曜日 18日 ・断酒会(仲里保健指導所/19:00~21:00)	10 火曜日 8日

「東日本大震災」義援金及び 支援物資を受け付けています!

平成23年3月22日設置

◎義援金募金箱設置場所

- ・久米島町役場 仲里庁舎
- ・久米島町役場 具志川庁舎

*各字の区長さんをとおして、各世帯へ義援金へのご協力をお願いしております。

◎支援物資の受付場所

- ・久米島町役場(福祉課・総合窓口)
- ・久米島町消防本部

*受付中の支援物資

- ・使い捨ておむつ(小児・大人)
- ・タオル(新品)
- ・簡易トイレ
- ・ボックスティッシュ



「東日本大震災」久米島町支援対策 本部の設置について

本部長：町長
 副本部長：副町長
 副本部長：教育長

1. 支援総括班長 総務課長

担当課：総務課

電話：098-985-7121

- ① 支援の総合調整に関すること。
- ② 人的支援(職員派遣、ボランティア)に関すること。
- ③ 公的支援に関すること。
- ④ 支援の広報に関すること。

2. 被災地支援班長 福祉課長

担当課：福祉課・町民課

電話：098-985-7124

- ① 義援金に関すること。
- ② 支援物資に関すること。

3. 被災住民受入班長 プロジェクト推進室長

担当課：プロジェクト推進室・産業振興課

電話：098-985-7134

- ① 被災住民の受入に関すること。
- ② 避難住民の受入に関すること。
- ③ 観光対策(避難)に関すること。

4. 就学支援班長 教育課長

担当課：教育委員会

電話：098-985-2287

- ① 小・中学生の就学支援に関すること。
- ② 高校生の就学支援に関する沖縄県との調整に関すること。

目指せ!学生日本一!!

～東北福祉大学 硬式野球部～

3月3日(木)から3月12日(土)まで、東北福祉大学硬式野球部久米島キャンプが久米島球場で行われた。

山路哲生監督は「久米島は初めてだが、施設面が充実していて申し分ない。順調に練習ができた。しっかり守れるチームを作っていきたい」と今キャンプの充実ぶりが伺えた。

生多良介(おぶた りょうすけ)主将(同校4年)は「練習環境が良く満足いく練習ができている。チームワークを大切に、全国制覇を目指し野球においても、私生活においても日本一のチームを目指して頑張りたい」と力強く語った。



生多良介主将

東北福祉大学 硬式野球部 (昭和37年創部・部員数:80名)

- ・仙台六大学野球連盟所属
- ・平成18年秋季リーグから現在9連覇中
- ・金本知憲選手(阪神)、佐々木主浩氏、塩川達也選手(楽天)等数多くのプロ野球選手を輩出している。

